

地方自治法第199条第4項の規定に基づく令和4年度定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

令和4年12月16日

飯能市監査委員 森 健 二

同 加 涌 弘 貴

1 監査の対象部署及び実施日

対 象 部 署	実 施 日
秘書室、資産経営課、図書館、博物館	令和4年10月6日
企画課、広報情報課、庶務課、職員課、契約検査課、 財政課、選挙管理委員会	令和4年10月13日
防災危機管理室、市民税課、資産税課、収税課、 生涯学習課、スポーツ課	令和4年10月14日

2 監査事項

令和4年4月1日から令和4年8月31日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項

3 監査の方法

あらかじめ提出を求めた監査資料及び監査当日に提出された帳簿、証拠書類を精査するとともに、関係職員から事務の執行状況などについて説明を聴取し、事務が適正かつ効率的に行われているか否かについて監査を実施した。

なお、本監査は飯能市監査委員監査基準に準拠して実施した。

4 監査の結果

監査した財務事務などについては、総括的には法令等に準拠し、おおむね適正

に処理されていた。

事務処理上留意すべき事項のうち、軽易なものについては、所属長に口頭で改善等の指示を行ったが、監査の結果は次のとおりである。

(1) 秘書室

秘書室では、渉外全般、飯能市表彰規程に基づき、市の発展に寄与された人や広く市民の模範となる功績のあった人などに対する表彰及び市政運営に関する情報の共有化と協働によるまちづくりを推進するため、新年祝賀式開催などの事業に取り組んでいる。当年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中で、様々な工夫をしながら「市長と語る！ふれあいミーティング」を実施した。今後も感染症対策を図りつつ、円滑な渉外活動や各課との調整が行われることを期待する。

(2) 防災危機管理室

新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和元年度から「飯能市新型コロナウイルス感染症対策本部」を63回（9月末現在）開催し、事務局として事務を行っている。また、自宅療養者等の支援についても実施している。現在も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立たないことから、引き続き、感染拡大防止対策に取り組むとともに感染予防についての周知を期待する。

自主防災組織育成事業では、新型コロナウイルス感染症が終息しない中で、各地域の自主防災組織が、3つの密を避けながら防災訓練を実施している。今後も自主防災組織に対する育成事業の充実を期待する。

(3) 企画課

広域行政推進事業では、第3次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画がスタートしており、Society5.0、SDGs、ゼロ・カーボンシティの実現など、各項目を意識した取組を進めている。地方自治体を取り巻く社会等の現状を鑑み、今後は更に複雑・多岐に渡る課題に対応していくまちづくりが求められる。これを踏まえ、少子高齢化、施設の老朽化、専門人材の不足等といったダイアプラン5市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）共通の課題を共有し、スケールメリットを生かした解決策が提案されることに期待する。

(4) 広報情報課

I C T推進事業では、情報及び情報通信技術を活用し、電子自治体化を進め、事務の効率化及び行政事務のデジタル化を図るとともに、庁内システムの安定稼

働を行っている。当年度から新たにビジネスチャットツールを導入し、職員間における情報共有の効率化が図られた。また、申請の電子化を全庁的に推進しており、住民サービスの更なる向上に繋がることを期待する。

情報メディア発信事業では、各種情報サイト、ソーシャルメディア、雑誌等を活用し、市の魅力、イベント、観光情報等を広範囲にわたり情報発信を行っている。いずれも、当市の認知度向上、交流人口の増加に繋がることから、引き続き事業が推進されることを期待する。

(5) 庶務課

文書管理事業では、印刷事務業務の委託を廃止し、新規に高速カラープリンターを導入することで全庁的な業務改善を図った。今後も高速カラープリンターの利便性を周知することで、更なる全庁的な業務改善に努めることを期待する。

基幹統計調査事業では、学校基本調査及び経済センサス調査区管理を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、調査回答についてはインターネットや郵送による提出を推奨しているが、引き続き正確な統計調査の実施に努められたい。

(6) 職員課

人事給与管理事業では、職員採用において、人物重視のため一次試験から受験者全員に対し面接試験を行っている。また、現職員のインタビューや研修の様子をホームページにて公開するなど様々な工夫をしている。今後は、当市の魅力を最大限発信するなど、志望する応募者を増やす取組に期待する。

福利厚生事業では、近年の労働環境の変化に対応し、職員の健康増進の必要性が増大している中、職員の福利の充実を図るため、職員定期健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス相談等の強化、また、産業医等による職場巡視などを通じて職場環境の向上に期待する。

(7) 契約検査課

工事の発注、物品購入に際しては、市内業者の受注機会を確保するため、原則市内業者に発注している。特に工事の発注においては、建設業界を取り巻く環境が厳しさを増す中、予定価格5,000万円未満のものについて、入札参加を市内業者に限定した入札を実施している。また、入札価格が調査基準価格を下回る場合には、低入札価格調査を実施し、ダンピングを防止するなど市内の建設業界の発展に資する取組を実施している。

技術顧問制度では、すでに5件の相談に対応した。引き続きこの制度を活用し、

安心、安全、効率的な工事等が実施されることを期待する。

(8) 財政課

当市の財政状況は、人件費、扶助費等の社会保障関係経費、長期借入金にかかる償還金、物件費等の経常的経費が高い水準で推移し、令和3年度の経常収支比率が85.5%と依然として財政構造の硬直化が見受けられる。また、今後も経常的・義務的経費の増加、老朽化した公共施設の維持管理や補修のための経費が見込まれる。一方で歳入については、コロナ禍という状況の中、当年度以降も市税収入は厳しい状況になることが推測されることから、限りある資源を有効に活用し、積極的な自主財源の確保など、一層の財政健全化への取組を期待する。

(9) 資産経営課

公用車管理事業では、多くの公用車両を管理しているが、相当年数の経過した車両も存在する。適切に整備がされていると考えるが、安全面に配慮し、計画的に更新されることを期待する。また、その際には、低燃費車両や電気自動車等の環境に配慮した車両が導入されることを望む。

庁舎施設管理事業では、本庁舎、別館、第二庁舎の施設管理や各設備の保守点検を実施している。本庁舎は老朽化が進み、経年劣化による不具合も発生していると考えられるが、今後も計画的に修繕等を実施し、施設が適正に管理されることを期待する。

(10) 市民税課

市民税管理事業では、市内の小中学校を対象に市税の重要性を学習する機会として、租税教室を開催するほか中学生を対象とした「税についての作文」、高校生を対象とした「税に関する作文」の募集及び表彰を実施している。今後も租税の意義や役割の理解が推進される取組が継続されることを期待する。

時間外勤務については、毎年申告の受付から納税通知書発送までの時期が多くなっている。近年急速に進む電子化や税制改正に対応しながらも、業務委託の推進等により事務を効率化し、職員の健康維持の観点からも極力時間外勤務を削減するよう努められたい。

(11) 資産税課

固定資産税、都市計画税の賦課事業では、当年度は評価替えの年度ではないが、適切な課税に向け、現地調査や航空写真、図面等を活用し、効率的・効果的な課税客体の把握が実施されている。引き続き、固定資産評価基準等に準拠した評価、

納税者にわかりやすい説明を行い、納税者の理解と信頼を確保されることを期待する。

固定資産税は、市税の中で最も大きな歳入であり基幹となる税である。今後も法令に基づいた適正かつ公平な課税により、安定した財源が確保されることを期待する。

(12) 収税課

当年度の8月末現在の市税収納率は、コロナ禍で経済状況が厳しい中、現年課税分が51.7%で前年度に比べ0.4ポイントの増、滞納繰越分が15.7%で1.9ポイントの増、全体では51.5%で0.5%の増となっている。

収納対策としては、休日納税相談窓口の開設、滞納処分の実施、納付案内センターによる納付催告等を行っている。

滞納処分では、差押の件数が99件で前年度に比べ55%増加している。引き続き、丁寧で納税者に寄り添った納税相談により担税力を見極め、納税意識が希薄な納税者には、税の公平性を確保するため厳正に対応されることを望む。

(13) 選挙管理委員会

選挙啓発事業では、チラシの配布や明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施している。また、駿河台大学と連携して選挙サポーター事業を展開するなど、引き続き若年層に効果的な啓発を行い、投票率が向上することを期待する。

県議会議員選挙費では、当年度に予算が計上され、来年度の選挙に向けた準備を開始している。適正な選挙事務が執行されることを期待する。

(14) 生涯学習課

成人式開催事業では、20歳を迎える方を対象に「成人式～二十歳の祝い～」として実施予定である。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「成人式開催マニュアル」に沿って、新成人の安全・安心を第一に考え検討、準備を行っている。

埋蔵文化財については、発掘調査が急増し、出土品の量が多く、学校の余裕教室、旧図書館に保存している。今後、出土品を恒久的に収蔵保存できる施設が確保されることを期待する。

(15) スポーツ課

スポーツ・レクリエーション大会開催事業では、飯能新緑ツーデーマーチや奥むさし駅伝競走大会の開催に取り組んでいる。当年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっていた飯能新緑ツーデーマーチを感染症対策の徹底

やウォーキングに特化した大会にすることで、3年ぶりに開催された。

コロナ禍の中、各種イベントの実施については感染症対策に細心の注意を払うなど、今後の取組に期待する。

(16) 図書館

図書貸出事業では、新たな取組として健康づくり支援課と連携し、乳児検診時に絵本、子ども図書館利用案内、図書館利用券登録申込書等の入ったブックスタートパックを配布するブックスタート事業を開始した。乳児と保護者が絵本を介して心触れ合うひと時を持つきっかけとなることを期待する。また、新規サービスとして地区行政センター10館で資料の受取及び返却が可能となるサービスを開始し、利用者の利便性の向上が図られた。

移動図書館事業では、移動図書館車が車両登録後23年目を迎え経年劣化も生じていることから、適切な点検、管理に努められたい。地域の利用者に親しまれているサービスであり今後の効果的な運用に期待する。

こども図書館では、開館から25年が経過し、建物、施設等の経年劣化が生じているが、保守点検等に気を配り、子どもたちと保護者が利用しやすい環境を維持するよう努められたい。

(17) 博物館

展示・学習会開催事業では、特別展として、埼玉県名勝指定100周年記念事業「天覧山」の開催が予定されている。その他の展示として、収蔵品展「地図にみる飯能の移り変わり」、自然写真展「里山に舞うチョウ」等を実施した。新型コロナウイルス感染症対応のため事業の実施に苦慮されているが、ソーシャルディスタンス等に配慮し、定員を抑制した分だけ回数を増やすなど、可能な限り多くの人に参加できるよう工夫し、実施している。今後も当市の魅力を紹介できるような事業展開を期待する。

工事関係では、荷解室、整理室の空調設備改修工事について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から改修工事が実施された。開館から30年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっているが、計画的な施設の維持管理が遂行されることを期待する。